

新規就農した先輩移住者に聞く 山形での農家暮らし



東根市 いしかわ なつみ
さくらんぼ農家 石川夏海さん
出身地：東京都



尾花沢市 こうたく
すいか農家 古藤 拓さん
出身地：福岡県



朝日町 ふるた すずむ
りんご農家 古田 晋さん
出身地：埼玉県

若いころから農業に興味があり、東根市の知り合いのさくらんぼを手伝ってきた東京都出身の石川さんは、果樹をやりたいと思っていたことから、2年間の研修期間を終え、今年の春から東根市で約0.6ヘクタールのさくらんぼ園で営農活動を行っている。年配の方の方言に苦勞しながらも積極的に地域の行事に参加し、東根果樹研究会の仲間と日々勉強し切磋琢磨している。

今後の目標は、彼女と結婚して二人三脚で交付金に頼らず経営を安定させたい。

地域おこし協力隊として平成22年に尾花沢市に移住。3年間の協力隊活動終了後、「農業に関係した仕事で、尾花沢市とお世話になった人達に貢献したい」という想いから、就農を決意した。協力隊時代に出会った農家から畑・機械を借り、栽培技術についても教えてもらいながらすいか栽培に取り組み2年目になる。ミュージシャンとしての一面も持ち、現在もイベント等に出演することも。

今後の目標は、新たに山形に来る移住者や新規就農者の手助けをしていくこと。

「木が好きで、木と共に農業をしながら暮らしたい」という夢を叶えるため、平成23年に埼玉県職員を退職し、山形県に移住。果樹農家のもと2年間の研修を経てその夢を実現させた。現在は1.4ヘクタールのりんご畑で忙しくも充実した生活を過ごしている。

朝日町のりんごを選んだ理由は、大学時代を山形で過ごしたことと果樹の中でりんごが最も好きで、研修中に食べたりんごが朝日町のものが一番だったため。

今後の目標は、無農薬で世界一美味しいりんごの栽培だ。

自ら地域に入る

最初は緊張しますが、自ら地域の行事や集まりに参加したりすることが大切なようです。そうすることで、知合いが増え、“助け合い”の関係ができていきます。

山形の冬は大丈夫！

冬は寒い、雪も積もります。雪かきは地域住民の方々の協力がが必要な場合もありますが、寒さ・雪とも耐えられる範囲内です。

方言が大変

相手が年配者ほど方言が分からず、最初はとまどいもあるようです。若い人はそこまで方言が強くない場合も多いようです。

利用した支援制度

石川さん、古藤さん、古田さん

青年就農給付金

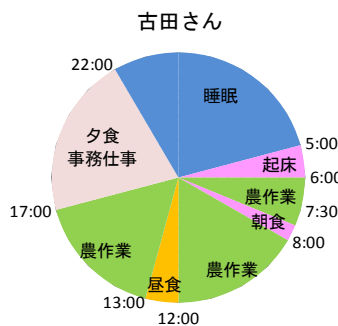
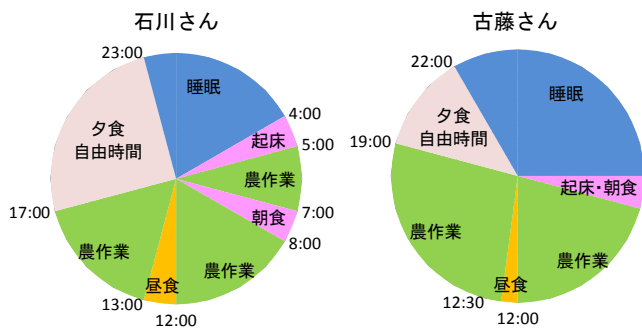
地域の人と仲良くなるには？友達づくりは？

石川さん：東根果樹研究会や趣味の音楽のイベントなどに参加

古藤さん：地域の行事や集まりに積極的に参加
焦らないことが1番

古田さん：新農業人ネットワーク山形や地域の飲み会や行事に参加

農繁期の1日



新規就農を目指す方へのアドバイス

石川さん：まわりに迷惑をかけないこと
問題を起こさないこと
積極的に行事に参加すること

古藤さん：まずは山形に来て自分から話し、
知り合いをつくること
勇気を持って山形に来て下さい

古田さん：ただ農業をやりたいと漠然と考える
のではなく、作りたいものを明確
にして臨まないと厳しいと思います

山形の良いところ

石川さん：東北人は閉鎖的だと思っていたが
とても親切で感謝している！

古藤さん：景色がきれい 空気・食べ物が美味しい
人も優しく明るい！

古田さん：食べ物が美味しい！

山形の悪いところ

石川さん：高齢者の方言がとにかく分からなかった
古藤さん：人を選ぶ 連帯感を求められる一面も
古田さん：方言が分からなかった
(現在は8割聞き取れる！)

山形の冬は大丈夫？

石川さん：寒さは許容範囲

古藤さん：きれいで静か 寒さは許容範囲内
除雪は大変

古田さん：大学時代も山形で過ごしたので
全然大丈夫！

寒くない！



山形での新規就農と暮らしのホンネ

支援制度を有効利用

経営が安定するまでは青年就農給付金等を有効に利用することも1つの方法です。準備型と経営開始型があります。詳しくは、「山形県 青年就農給付金」と検索してください。

冬はゆったり

営農形態にもよりますが、農繁期と比べ冬は比較的ゆったりできます。次年度の農業の準備などをする時期です。